

対ウズベキスタン共和国 事業展開計画

2017年4月現在

<p>基本方針 (大目標)</p>	<p>経済成長の促進と格差の是正に向けた支援の実施</p>											
<p>重点分野1 (中目標)</p>	<p>経済インフラの更新・整備(運輸・エネルギー)</p>											
<p>開発課題1-1 (小目標) 公共事業の経営改善、インフラ設備の効率的利用促進</p>	<p>【現状と課題】 旧ソ連時代に整備されたインフラの多くが老朽化しているほか、旧ソ連の崩壊による各国の独立に伴って新たに発生した国境線で分断されたネットワーク（電力、鉄道・道路等）を国内インフラとして再編するための多大な負担が生じているところ、持続的な経済成長を確保するためには、運輸分野（鉄道・道路等）やエネルギー分野（発電所建設等）の再整備及び管理・運用面での能力構築支援が求められている。</p>		<p>【開発課題への日本の対応方針】 技術面でのウズベキスタン側のニーズを的確に踏まえつつ、持続的な経済成長に貢献する質の高いインフラの整備を通じたウズベキスタンの経済発展の基盤作りに貢献していく。</p>									
	<p>協力プログラム名</p>	<p>協力プログラム概要</p>	<p>案件名</p>	<p>スキーム</p>	<p>実施期間</p>						<p>支援額 (億円)</p>	<p>備考</p>
	<p>運輸インフラ改善プログラム</p>	<p>独立後、資金手当が必ずしも十分になされず老朽化が進む運輸インフラの更新と適切な維持管理、域内の経済発展と安定の基盤となる国際輸送ネットワークの確立を目的とし、輸送力の向上や域内の物流活性化に資する質の高いインフラ整備や制度構築などへの支援を行う。</p>	<p>カルシールテメズ鉄道電化計画</p>	<p>有償</p>	<p>2016年度以前</p>	<p>2017年度</p>	<p>2018年度</p>	<p>2019年度</p>	<p>2020年度</p>	<p>2021年度</p>	<p>180.67</p>	
	<p>エネルギー・インフラ改善プログラム</p>	<p>老朽化の著しい発電所などのエネルギー施設の更新と増加するエネルギー需要への対応を目的とし、円借款による火力発電所等への先端技術を有する設備の導入を図るとともに、電力開発計画の策定支援や発電設備運転維持管理に関する技術協力、配電施設や財務・料金システムの改善などにかかる研修を通じた支援を行う。</p>	<p>タリマルジャン火力発電所増設計画</p>	<p>有償</p>							<p>274.23</p>	<p>アジア開発銀行との協調融資</p>
			<p>ナボイ火力発電所近代化計画</p>	<p>有償</p>							<p>348.77</p>	
			<p>トゥラクルガン火力発電所増設計画</p>	<p>有償</p>							<p>718.39</p>	<p>電力セクター・プロジェクト・ローン(SPL)の1案件</p>
			<p>タンケント熱電併給所建設計画</p>	<p>有償</p>							<p>120.00</p>	<p>電力セクター・プロジェクト・ローン(SPL)の1案件</p>
			<p>電力セクター能力強化計画</p>	<p>有償</p>							<p>30.00</p>	<p>電力セクター・プロジェクト・ローン(SPL)の1案件</p>
			<p>エネルギーインフラ分野の課題別研修</p>	<p>課題別研修他</p>								
			<p>コンバインドサイクル発電運用保守トレーニングセンター整備プロジェクト</p>	<p>技プロ</p>							<p>5.63</p>	
<p>コンバインドサイクルガスタービントレーニングセンター強化プロジェクト</p>			<p>技プロ</p>							<p>2.00</p>		
<p>火力発電(ガスタービン)維持管理研修</p>	<p>国別研修</p>											

重点分野2 (中目標)	市場経済化の促進と経済・産業振興のための人材育成・制度構築支援											
開発課題2-1 (小目標) 民間セクターの活性化に資する行政・法基盤の整備、民間セクター実務人材の育成	【現状と課題】 民間セクターを中心とする経済への移行、国内産業の多角化・高度化、国際基準に合致した各種制度・法律等の整備・運用といった、改革を担う官民双方の人材育成にかかるニーズが依然として存在している。				【開発課題への対応方針】 各種技術協力及び資金協力を通じて、官民双方の人材育成や制度構築などを中心とした支援を引き続き行う。							
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
	民間セクター活性化プログラム		ウズベキスタン日本人材開発センター・ビジネス人材育成・交流機能強化プロジェクト	技プロ	—	—	—	—	—	—	4.70	
			ウズベキスタン・日本青年技術革新センター設立プロジェクト	技プロ	—	—	—	—	—	—		
			人材育成奨学計画	無償	—	—	—	—	—	—	10.85	2013-16年の合計額
			ビジネス人材育成分野のシニア海外ボランティア派遣	JOCV/SV	—	—	—	—	—	—		
			中小企業の活性化分野のシニア海外ボランティア派遣	JOCV/SV	—	—	—	—	—	—		
			民間セクター活性化分野の課題別研修・青年研修	課題別研修他	—	—	—	—	—	—		
ウズベキスタン金融財政アカデミー支援			財務省技協	—	—	—	—	—	—			

重点分野3 (中目標)	社会セクターの再構築支援												
開発課題3-1 (小目標) 農業改革・地域 開発	【現状と課題】 ウズベキスタンでは、人口の約5割が地方部に居住している一方、その重要な産業である農業のGDPに占める割合は約4分の1に留まっている。農業改革支援は市場経済化のための制度構築的な要素も併せ持っている。また近年、都市と地方の格差が拡大しつつあり、格差解消を目指した取組が必要となっており、住民自身の社会主義的メンタリティから市場経済的に対応できるメンタリティへの転換、経済合理性に基づく産業振興、インフラ構造の再構築などが課題である。				【開発課題への日本の対応方針】 農業・農村開発及び農業従事者の所得向上を目標に、ウズベキスタンの農業政策の影響を受けない範囲で、農業従事者・地域住民の生活環境改善のため、付加価値のある農業振興や地域開発などの支援を行う。						支援額 (億円)		備考
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考	
	農業改革・地域 開発プログラム	ウズベキスタン農業に不可欠な灌漑設備に必要なインフラ整備やマネジメント改善を行うとともに、果樹栽培や養蚕など農業の付加価値向上に資する支援を行う。また、地域住民の所得向上を念頭に観光支援などを行う。	アムハラ灌漑施設改修計画	有償	2016 年度 以前	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	118.72	ADBとの協調融資	
			農地改革・地域開発分野の草の根技術協力	草の根技協								リンゴ栽培	
			農業改革・地域開発分野の課題別研修	課題別研修他									
			農地塩害対策調査	農林水産省技協								JIRCAS実施	
			農地塩害対策調査フォローアップ	農林水産省技協									
観光開発分野での青年海外協力隊派遣			JOCV/SV										
開発課題3-2 (小目標) 保健医療	【現状と課題】 保健医療分野は、独立後の経済・社会の変容の渦中において、医療従事者の技術水準の確保及び医療器材の老朽化に伴う医療の質的低下の防止、社会的弱者層の包摂や自立支援と経済合理性に基づく医療サービスへの質的転換及びコスト削減との両立を確保すること等が課題である。				【開発課題への日本の対応方針】 日本政府の「平和と健康のための基本方針」を念頭に置き、医療の質の向上及びシステム改善を目的とした資金協力、技術協力を、予防医療についても視野に入れながら行う。また、障害者支援等の社会福祉サービスの強化を通じて、障害者等の社会参加を促進する。						支援額 (億円)		備考
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考	
	保健改革プログラム	技術協力による非感染性疾患(NCDs)の予防対策能力の向上、無償資金協力による医療器材整備、ボランティア派遣によるパブリックヘルスや障害者の自立支援等、各種スキームを組み合わせた相乗効果の高い支援を行う。更に、医療サービスの質的向上に資する資金協力の実施も検討していく。	予防医療の支援分野の青年海外協力隊派遣	JOCV									
			非感染性疾患予防対策プロジェクト	技プロ							6.20		
			医療器材ノン・プロジェクト無償資金協力	無償							5.00		
			医療器材分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償							0.36		
			障害者施設支援分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償							0.15		
			社会的弱者支援分野の青年海外協力隊派遣	JOCV									
			ナボイ州総合医療センター機材整備計画	無償							6.86		
保健改革分野の課題別研修			課題別研修他										
中央アジア地域 障害者のメインSTREAMING及びエンパワーメント促進帰国研修員支援フォローアップ	課題別研修他												

その他												
教育	【現状と課題】 職業教育・教育環境については、①教育現場における新しい技術・情報・熟練した教員、質の高い教材の不足、②校舎や機材の老朽化、及び③専門的な技能を活かせる職場への就職が困難などの問題がある。また、中高等教育機関の拡大と教員の養成・再教育が必要とされている。			【開発課題への日本の対応方針】 公共の教育施設全体の老朽化、優秀な人材の流出、貧富の差、地域格差による教育の質の低下に対して、日本政府の「平和と成長のための学びの戦略」を踏まえつつ、教員の質の向上、環境整備など、教育環境と教育の質の向上に資する支援を行う。								
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
	職業教育・教育環境改善プログラム	ボランティア活動などを通じた教員再教育、日本語教育などを支援する。また、老朽化した学校の施設・機材の更新のための支援を実施する。	初中等教育施設支援分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	2016年度以前	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	0.15	
			高等教育機関分野の青年海外協力隊・シニア海外ボランティア派遣	JOCV/SV								
			初中等教育・社会教育分野の青年海外協力隊・シニア海外ボランティア派遣	JOCV/SV								
			日本語教育分野の青年海外協力隊・シニア海外ボランティア派遣	JOCV/SV								
教育分野の課題別研修			課題別研修他									
地域の協力・発展に資する協力	防災・環境管理プログラム	防災・環境管理分野の課題別研修	課題別研修他									
		災害レジリエンス強化	無償							1.25百万米ドル	日本世銀防災共同プログラム	
	国境管理・麻薬対策プログラム	ウズベキスタンがアフガニスタン産麻薬の流通ルートになっている等の現状を踏まえ、捜査、検出、押収など一連の対策活動にかかるウズベキスタン側当局の能力強化を図るための制度構築支援を行なう。	省庁間の機動的なチーム設置を通じたウズベキスタンにおけるアフガニスタン産麻薬取引防止計画	無償							2.63	国連薬物・犯罪事務所(UNODC)実施

【凡例】「協準」(=全ての協力準備調査)、「詳細設計」(=詳細設計)、「技プロ」(=技術協力プロジェクト)、「開発計画」(=開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」(=個別機材)、「個別研修」(=個別研修)、「課題別研修他」(=課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(=青年海外協力隊)、「SV」(=シニア海外ボランティア)、「第三国専門家」(=第三国研修)、「現地国内研修」(=科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(=草の根技術協力)、「〇〇省技協」(=外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(=開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「無償」(=以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)、「水産無償」(=水産無償資金協力)、「食糧援助」(=食糧援助)、「一般文化」(=一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(=草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(=緊急無償資金協力)、「日本NGO」(=日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(=草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(=円借款、海外投融資)、「マルチ」(=国際機関等を通じた多国間協力スキーム)、「中小企業支援」(=中小企業海外展開支援事業「基礎調査」)、「案件化調査」及び「普及・実証事業」、並びに中小企業連携促進基礎調査、実線「———」(=実施期間)、破線「- - - -」(=実施予定期間)